

会 議 録

会議の名称	平成21年度和泉市環境審議会
開催日時	平成22年2月24日（水）午前10時から正午まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階中集会室
出席者	中原会長・柏副会長・竹歳副会長・着本委員・岡委員・前田委員・増田委員・藤田委員・巖委員・中村委員・島田委員・岸脇委員・村井委員・大倉委員・山口委員（以上15名・順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	<p>（1）和泉市環境基本計画について</p> <p>①和泉市環境基本計画の見直しについて（諮問）</p> <p>②計画の進捗状況について</p> <p>③第2次和泉市環境基本計画検討委員会設置及び委員の選出について</p> <p>④第2次和泉市環境基本計画策定スケジュール（案）について</p> <p>（2）和泉市地球温暖化対策地域推進計画について</p> <p>（3）自然環境調査業務の進捗状況について</p> <p>（4）審議会委員名簿の公開について</p> <p>（5）その他</p>
会議の要旨	<p>平成13年9月に策定した「和泉市環境基本計画」の見直しを行うため、市長から審議会への諮問が行われた。また、新たな計画を策定するにあたっての作業主体となる検討委員会の設置が承認された。同委員会設置に伴い、運営については審議会委員からも参画することが望ましいことから、委員候補者の選出が行われた。</p> <p>その他、事務局より「和泉市環境基本計画」の進捗状況報告、「第2次環境基本計画」の策定スケジュールの概要説明及び「和泉市地球温暖化対策地域推進計画」・「自然環境調査業務」の進捗状況報告等を行った。</p> <p>また、「審議会委員名簿の公開」の案件については、市政情報コーナーでの公開についての承認を得た。</p> <p>各案件についての主な意見については、別記のとおり。</p>

会議録の 作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の 確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
審 議 内 容 （ 主 な 意 見 等 ）	
<p>(1) 和泉市環境基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の数値目標の評価で、漠然としていて分かりにくい部分がある。また、数値が設定されていても評価が読み取りにくい部分がある。 ⇒見直し時に検討する。 ・数値のばらつきや、一貫性がない面が窺える。 ⇒見直し時に検討する。 ・広い分野について、どれもこれもやろうというのは難しいものである。和泉市のセールスポイントをある程度決める必要があるのでは。 ・第2次環境基本計画のパブリックコメントについては、機会を増やしてもらうことを希望する。 ・第2次環境基本計画検討委員会については、7月に始める予定になっているが、開始時期を早めた方が良いと思われる。 ⇒配布したスケジュールはあくまで案であるので、出来る範囲で早めることを検討する。 ・パブリックコメントをいただくにあたっては、これまでの基本計画の評価結果がどうであるかが分かるほうがコメントしやすい。 ・次年度の審議会は検討委員会での議論と密接に関係する。3回行う予定の審議会の大きな中身の目標を設定しておく、中身の濃い審議が出来ると考える。 <p>(2) 和泉市地球温暖化対策地域推進計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉市としてすべきことは沢山あると思うが、個人的には温暖化というのは、広域的に、一つの市だけではなく横のつながりが必要で、お互いに協力するといった方向性があっても良いのでは。 ⇒水質保全に関しては、近隣市との協議会を設けているものの、温暖化対策に関しては、現在、具体的な連携はないのが現状である。 ・和泉市の大きな特徴として、これからトリヴェールに新しい住宅建設が進んで、人口増が 	

起こる。新築時に外断熱など建物そのものの高効率化を図ることが非常に有効だと思う。

- ・和泉市の特徴として金剛・生駒紀泉国定公園に森林地帯が存在する。手をつけていない森林はCO₂の吸収源とみなせないことから、経済成立性は難しいが、きっちりと林業整備・森林整備をしていくということが非常に重要である。公園や都市部の緑化は、吸収源としてはあまり大きな効果が期待できないので、森林エリアを吸収源としてみられることが和泉市にとっての一つの特徴と言える。
- ・環境基本計画の数値目標の中では、森林については面積だけで評価している。昔は、開発されない面積を確保しましょうという保護政策で良かったが、現在は人間が手をかけないと自然環境は劣化したり、CO₂吸収源となっていくので、いかに人間が手をかける仕組みを作るかを考える必要がある。
- ・和泉市地球温暖化対策地域推進計画と第2次環境基本計画の関係はどうなっているのか。
⇒上位計画は環境基本計画である。地球温暖化対策は急務であることから本年度進めているものであり、相互の相関を図っていくべきものである。
- ・環境づくりはまちづくりと考える。関係所管の中で今回の第2次環境基本計画との関係性を明確にしなければならないと考える。

(3) 自然環境調査業務の進捗状況について

- ・現在、周年調査が各地区とも出来ていない状況で、一通り春・夏・秋・冬の調査を行うともう少し確認できる科・種ともに増えてくると思われる。一年だけで多くの科・種が確認されている状況である。観察終了後にフローラリスト（植物相のリスト）或いはファウナリスト（動物相のリスト）として取りまとめるのが非常に大変で、種の同定をして、きっちりと学名を確定してリスト化する作業を行なっているNPOの方々には、非常なご苦労いただいていると思われる。このNPOは、素人の集団というよりはむしろプロの集団という形で活動いただいている状況である。最終的には、目録整理をしてリストやデータブックのようなかたちで市民の方々に公表していければいいのではないかな。